

令和4年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	12	学校名	静岡県立三島北高等学校	校長名	高橋 健二
------	----	-----	-------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	基本的生活習慣の確立と心身の健康の保持・増進、豊かな人間性の醸成	・時間を守るように心がけている生徒 95%以上※ ・整備委員会による環境美化週間の実施 各学期1回 ・生徒による生活キャンペーンの実施 各学期1回 ・挨拶をしっかりと心掛けています生徒 90%以上※	・(生徒:B)時間を守るように心がけている生徒は 95.5% ・(保健:A)環境美化週間を毎学期実施した。カーテン洗濯の実施により、学習環境整備が進んだ。 ・学校生活キャンペーンは学期に1回以上行った。 ・(全体:B)挨拶をしっかりと心掛けています生徒 89%。 ・1年2年3年(BAA)	A	・概ね生徒は時間を守ることができている。 ・朝の読書の時間について課題が残る。遅刻ではないが、8時10分登校を守らせない。 ・順次カーテンの新調も進めていきたい。 ・学校生活キャンペーン実施により、挨拶を活性化させたい。
		・保健だよりの発行 月1回 ・健康観察アプリの活用率 90%以上 ・信頼できる先生がいる生徒 90%以上※	・(生徒:A)保健だよりを月1回発行し、保健委員会を中心とした保健・健康に関する啓発活動が充実し、生徒に働きかけることができた。 ・健康観察アプリは90%以上の生徒が活用している。 ・(全体:B)教員を信頼できている生徒 82%。 ・1年2年3年(BBA)		・引き続き活発な活動を続けていきたい。 ・カウンセリング希望者は全てカウンセラーにつなげることができた。昼休みの相談室開放は、予定した日程の大半で開室できた。
		・部活動や学校行事に熱心に取り組んでいる生徒 95%以上※ ・生徒の満足度 90%	・(全体:B)部活動や学校行事に熱心に取り組んでいる 93%。 ・(図書:A)今年度の図書委員会の活動は、10月のせせらぎ講座以外はすべて予定通りにできた。テーマ展示やポップの作成を地域との連携も滞りなく行っている。 ・(図書:A)芸術鑑賞教室の		・生徒たちにとって魅力ある学校行事を生徒会・生徒。先生方と協力して作り上げたい。 ・せせらぎ講座は、コロナ禍で講師を招請することが難しくなるので、進め方を検討したい。

様式第3号

		<p>以上※</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書年間貸出数（4～12月集計） 2000冊以上 	<p>満足度 98%。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（図書:A）12月までの貸出図書数は 2154 冊と目標を達成した。 		<p>貸出図書の数 冊数は年内に達成できた（約 2200 冊）が、もっと多くの人に図書室に足を運んでもらえるような工夫を考えたい。</p>
イ	<p>確かな学力と幅広い教養の育成に資する学習指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理解を深める工夫をしている授業 90%以上※ ・主体的な活動や生徒同士の対話がある授業 90%以上※ ・家庭学習時間平日平均 120 分以上※ 休日平均 200 分以上※ ・校内研修の実施 年3回以上（「学びの基礎診断」の結果分析を含む） 	<ul style="list-style-type: none"> ・（全体:B）理解を深める工夫をしている 79% ・（理科:A）ポートフォリオを作成し、基本事項の確認と定着を図った。 ・（英語:A）理解を深める工夫をしている授業目標：90%、課題・問い：95%、思考・判断・表現：95%。 ・主体的な活動や生徒同士の対話がある授業と答えた生徒 93% ・（数学:B）課題や問いを工夫している 92%。生徒同士の主体的活動をしている。87% ・（地公:B）生徒の活動や対話を促す授業の取り組みが不足している教員もいる。 ・（理科:A）実験により、科学的に探究する力を育成した。ペアトークやグループワークを通して、論理的に伝える力を育成した。 ・（英語:A）主体的な活動や生徒同士の対話がある授業:99%。 ・（情報室:B）1人1台端末を導入し、1年生の授業や探究の時間では協働的な学びの実践に活用できている。 ・家庭学習時間調査は2月に実施 ・（研修:A）校内研修テーマにより、「BYOD 生徒用情報端末を用いた学習指導」（8月、9月、11月）、「個別最適な学びの実現に必要な特別支援の理解と実 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・（数学）担当教員がそれぞれに工夫を凝らした授業を行っている。学習指導要領が変わり、生徒の活動を重視した授業が課題である。 ・（理科）授業の満足度は高いが、模試、共通テストの結果に表れていない。反転学習や課題の設定など授業と家庭学習の接続が必要である。 ・ICT の活用に考え方を共有し、單元ごとに授業のモデルを構築できた。 ・（英語）生徒の確かな学力の育成に向け、多様な観点からアプローチ・工夫して目標達成につながった。 ・新学習指導要領の導入により、教員が伝統的な指導の方法から、新しい試みを行っていく必要がある。チーム英語科として、互いに学び合いを深められる体制でありたい。 ・（情報室）Wi-Fi ネットワーク環境の不具合が続き、インターネットにつながらないことが生徒のモチベーション低下になってしまふ点が危惧される。 ・（研修）BYOD 生徒用情報端末に関する研修は、情報室が本校の実情に合わせて設計した内容で実施することができた。特別支援に関する研修は、外部講師を迎え専門的な知見

様式第3号

		<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程検討委員会の開催 年3回以上 	<p>践」(7月、12月)、学びの基礎診断(スタディーサポート)研修(進路課5月)、を実施した。各教科の授業改善リーダーが、BYOD生徒用情報端末を用いた参観授業を行い、教科ごとに研修を深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(教務)教育課程検討委員会を3回開催し、令和7年度入試に対応した教育課程を編成した。 		<p>を得ることができた。学びの基礎診断の研修は、実施業者による詳細な分析を共有することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(教務)今後は、文理選択の時期について検討を重ねていく必要がある。 ・観点別評価は、先生方の積極的な取り組みにより、順調に行うことができた。
ウ	<p>高い志と自立の精神に基づく自己実現を支援する進路指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・将来に対する明確な夢や目標を持っている生徒 70%以上※ ・学校は適切に進路情報を提供していると思う生徒 90%以上※ 	<ul style="list-style-type: none"> ・(全体:B)将来に対する明確な夢や目標生徒 60% ・適切に進路情報を提供生徒 80%(B) 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学年部とも連携をし、進路講演等の行事の内容を検討していく。「進路だより」(3年生:年7回発行、1・2年生:進路の手引き号のみ)等の情報発信の方法、タイミングを考えていきたい。 ・土曜講座、放課後講座、夏期講習、ハイレベル講習等の効果的な実施方法を今後検討していく。 ・目標の割合を達成するため、共通テスト・個別試験に対応する学力を高めていく。
		<ul style="list-style-type: none"> ・進路実現に向けて努力している生徒 75%以上※ ・第1志望の大学に出願する生徒の割合 70%以上 	<p>(進路:B)進路実現に向けて努力している生徒 72%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(進路:B)第1志望の大学に出願する生徒の割合 63%※ ・第2回進路検討会後 ・1年2年3年(BBA) 		
エ	<p>課題発見・解決力、論理的・批判的思考力、国際感覚等を備えた人材を育成するための探究的な学び・協働的な学びの深化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業が論理的思考力等を高めることにつながっていると答える生徒 90%以上※ 	<ul style="list-style-type: none"> ・(全体:B)授業に論理的思考力を高める工夫があると答えた生徒 79%。 ・(地公:A)思考判断表現について肯定的評価が高い。 ・(数学:A)授業が論理的思考力等を高めることにつながっている。94%。 ・(理科:B)実験により、科学的に探究する力を育成した。 ・(英語2年:B)国際バカロレアの学習や指導の方法を踏まえた授業・課題、及び英語ディベートを実施した。 ・(研修:A)生徒情報端末を効果的に使い、資料の収集、効果的な発表資料の提示をしたり、相互評価で活用する指導ができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・(教務)学んだことを活用することができる能力の育成を心がけて教科指導をしていきたい。今後、論理的思考力を高める授業を工夫していく。 ・(数学)生徒の理解を促したり、発想の手助けとなったりするように、ICT機器を効果的に活用した成果である。 ・(英語2年)83%の生徒が思考力・判断力・表現力を向上させることができたと回答し、72%の生徒が知的好奇心や探究心を持って、主体的、自律的に外国語(英語)を向上させることができたと回答した。

様式第3号

		<ul style="list-style-type: none"> ・英語力や国際性が高まったと考える保護者の割合 60%以上※ 	<ul style="list-style-type: none"> ・(全体:B)英語力や国際性が高まったと回答した保護者 52% ・(研修)エンパワーメントプログラム(28名)、TOEIC講座(4名)では、高度な学習活動を提供できた。海外研修は実施を断念したが、グローバル課題を意識する授業を展開し、代替研修を充実させた。2年生の英語では、ネイティブ講師と一対一でオンライン英会話を3回実施した。 ・1年2年3年(BAA) 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、生徒の英語力や国際性が高まる授業や取組を実施していく。
オ	家庭や地域等との連携を基盤とした信頼される学校づくり・開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・入学させて良かったと答える保護者 90%以上※ 	<ul style="list-style-type: none"> ・(全体:A)入学させてよかった保護者 91% 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や学校行事等のさらなる充実を図るとともに、PTA活動の活性化(紫苑祭、職業別講座等)を進めていく。
		<ul style="list-style-type: none"> ・一日体験入学の参加中学生 1000人以上 ・情報発信に熱心であると答える保護者 70%以上※ 	<ul style="list-style-type: none"> ・(教務:B)一日体験入学参加 1070人 ・(情報室:C)HPで学校行事の更新を定期的に行われた。 ・情報発信に熱心であると答えた保護者は64% 		<ul style="list-style-type: none"> ・一日体験入学、オープンスクールともに、多くの中学生が参加してくれた。 ・HPサーバーの容量不足により、思うように広報ができなかった。今後、対応を検討する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域や社会の課題に対す意識が高まった生徒 60%以上※ 	<ul style="list-style-type: none"> ・(全体:B)地域の行事(防災訓練など)や奉仕活動、社会貢献活動等への参加や関心を持つ生徒 49%、保護者 65% 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域が求める行事に積極的に参加していきたい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度導入に向けた準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会制度に向けて準備を進めた。 		<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会制度を行いより良い学校運営に生かしていく。
カ	安全・安心な学校につながる学習環境の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめや体罰等に関する指導案件なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめや体罰事案なし 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して安全・安心な環境を整備する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・安全対策がしっかりとできていると答える保護者 60%以上※ 	<ul style="list-style-type: none"> ・(全体:B)安全対策ができている保護者 50% 		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の安全対策を行い事故の起きない取組を進める。 ・わからないと答える保護者が31%と多いので、広報にも努める。
		<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故件数 前年比減 	<ul style="list-style-type: none"> ・(生徒:A)交通事故件数は4件で、前年度9件より大幅に減少した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、交通ルールへの遵守を心掛け、交通事故0件を目指す。

様式第3号

		<ul style="list-style-type: none"> ・ A E D 講習会等の実施 ・ ニーズに即した予算の執行 	<ul style="list-style-type: none"> ・ (保健:A) 検診及び各種講習会は確実に実施し成果を上げることができた。 ・ 適切な予算執行ができた。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の安全管理意識を高揚について、成果を上げることができた。 ・ 来年度に向けて適切な整備計画を立てる。
キ	コンプライアンスの徹底と学校における働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の不祥事なし ・ 監査における指摘事項なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の不祥事はなかった。 ・ 監査における指摘事項はなかった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き日々の業務の中でコンプライアンスの徹底を行う。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間外勤務時間の減少 ・ 夏季休暇取得率 100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月 45 時間を超える回数が 6 回以上の教員 31 人と半数以上である。 ・ 夏季休暇取得率 100% を達成した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務の精選と改善による働き方改革をさらに進める。